

造影CT検査に関する説明・同意書

(心研カルテ用)

説明者：心臓血管研究所付属病院 _____
検査内容：造影剤投与によるCT検査
説明内容：検査の目的、方法、合併症、拒否の自由等を含む。

【目的】

今回、造影剤を用いてCT検査を行い、あなたの心臓や血管、臓器の詳細な画像を撮影します。心臓血管系の病気を引き起こすリスクのある方、他の検査で病気の有無が判然としなかった方、心臓や血管に対して治療を行う予定あるいは既に行われている方に、病気の原因を究明したり最適な治療法を選択したり経過観察したりするのに役立ちます。

【方法】

腕の静脈に点滴の針を刺して、そこから造影剤をはじめとする必要な薬剤を投与します。冠動脈用のCT検査では、ニトログリセリンスプレーを口腔内に噴霧します。また、心拍数が高い場合には、β遮断薬という薬剤を点滴で投与して心拍数をコントロールします。撮影中は、画像のブレを軽減するために息止めをお願いしますので、指示に従ってください。造影剤を投与すると体が熱く感じます。この感覚は正常の反応で、数分以内に消失します。造影剤は、投与後24時間で尿として体外へ排泄されるため体内には残りません。

【注意事項等】

造影剤の安全性は確立されていますが、ヨードを原材料としているためにアレルギー反応を起こす人が稀にいます。

軽度副作用 … 蕁麻疹・くしゃみ・嘔気・動悸・頭痛・かゆみなど(5%未満)

重度副作用 … 血圧低下・呼吸困難・意識障害・心停止(0.01~0.02%)

造影剤脳症(頻度不明) また病状・体質によっては非常に稀ですが、
10~20万人に1人の割合で死亡する場合があります。

アレルギー体質や気管支喘息の方は副作用発現率が約10倍高くなります。

また腎機能障害のある方は造影剤で悪化する場合があります。ビッグアナイド系糖尿病薬を服用中の場合は乳酸アシドーシスを起こす危険性があるため検査前日から検査後3日、計4日間服用を中止していただきます。

造影剤が血管外へ漏れた場合は痛みや腫れが出現しますが、時間の経過と共に自然に吸収され消失します。漏れた量が多い場合は別途、処置が必要になることがあります。

β遮断薬の副作用として脈拍の低下による血圧低下、それに伴うめまい・吐き気・けん怠感・眠気・頭痛が起こることがあります。また発疹などの過敏症状が生じる恐れが僅かながらありますが数時間で消退します。

万が一、検査中に異常がみられた場合は直ちに検査を中止します。副作用が生じた場合には医師・看護師によってすぐに治療できるよう万全の体制を整えて検査を行います。合併症が起きた場合には最善の処置をしますが、その際の経費は原則として患者様のご負担になりますことをあらかじめご承知おき下さい。

心臓血管研究所付属病院長 殿

_____年 月 日

私は上記の検査について、その必要性、方法、発生し得る合併症などの説明を十分に受け、その内容を理解しました。つきましては同検査を受けることに同意します。

患者氏名 _____

保護者または

代理人氏名 _____ (患者との関係: _____)